



(No. 37)

2024年4月26日発行

長野工業高等専門学校同窓会

〒381-8550 長野市徳間 716

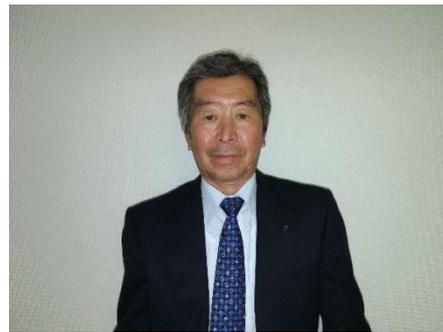
TEL 026-295-7055

<https://nnct-doso.net/>

長野工業高等専門学校創立 60 周年に寄せて

長野工業高等専門学校同窓会会長 小河原敏男

長野工業高等専門学校が創立60周年を迎えることに対しまして、心よりお喜び申し上げます。この60年間学校運営にご尽力いただいた校長先生以下、教職員の皆様には大変感謝申し上げる次第です。特に近年のコロナ禍という未曾有の災いに対して奮闘努力いただいた教職員の皆様には大きな敬意を表します。大変ありがとうございました。



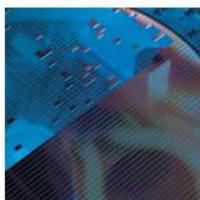
さて、本校60年の歩みは60周年記念誌に詳細記されていますが、昭和38年4月に120名の1期生を迎え、本年3月の卒業生で9,000有余名となり、あと2年ほどで10,000名は超えようとしています。昭和43年の3月に1期生が卒業されて長野高専同窓会が設立され、現時点で正会員（卒業生）準会員（在校生）合わせて10,000名を超える大きな組織となりました。卒業生の皆様は企業や組織の中堅どころ、または重職、あるいはトップとして日本のモノづくりを支えてまいりました。本校発足時の高度成長時代からオイルショック、バブル期、バブル崩壊、低成長時代、リーマンショック、東日本大震災、コロナ禍など数々の経済的荒波小波を乗り越えてきた日本を下支えたのが高専生ではないかと思っております。まさに高専発足の初期目的であった実践的中堅技術者育成という成果が発揮されたものです。

本校自体も社会情勢、経済情勢の変化のなか、教育制度の変更により平成16年から独立行政法人高等専門学校機構として統合され、その後も様々な教育プログラムの変更に教職員の皆様にご尽力いただいております。昨年度からは学科改組として過去に例のない改革が行われました。

長野高専がこのような大変な労力をかけても改組に踏み切ったのは、この少子化など外部環境が変化するなかで目標とする教育をより高度なレベルで提供するためのものと思っています。

一芸を極めて世界に挑戦

信頼と実績の圧力計測技術により、安全・安心の暮らしを支えています。



半導体(ウェハ)



プラント(工場)



建設機械(油圧ショベル)



新エネルギー(水素)



長野計器株式会社 人事部 長野県上田市秋和1150 Tel: 0268(22)7531

<http://www.naganokeiki.co.jp> Mail to: jinjika@naganokeiki.co.jp

専門職大学の設立やスーパーサイエンスハイスクールなど技術系高等教育に国が力をいれるなかで、長野高専として特色ある教育を行い、この少子化のなかで優秀な入学生を確保し、日本のみならず世界に出ても通用、へこたれない技術者育成をしていただくようお願いします。同窓会としても、本校はもとより、後援会、技術振興会他関係機関と連携を深め母校の発展に寄与していく所存です。

最後になりますが、同窓会だよりを読まれる同窓生の皆様に同窓会長としてお願いがあります。ぜひ皆様方のご子息、ご息女、お孫さん、親類縁者、ご友人その他赤の他人にも長野高専入学を勧めていただきたいと思います。前述のとおり教職員の皆様一丸となって優秀な技術者育成にご尽力いただいています。ぜひお願いします。そして創立100周年を目指しましょう。

創立60周年を迎えて

長野工業高等専門学校 副校長（総務主事） 楡井雅巳

日頃より長野高専へのご支援を賜り、ありがとうございます。本年度、本校は創立60周年を迎えました。記念事業を行うにあたりましては、同窓会様はじめ、後援会様、長野高専技術振興会会員企業様からの多大なご支援をいただきました。誠にありがとうございます。記念事業としまして7月には、小河源同窓会長様のご臨席をいただき、記念植樹が行われました。植樹されました2本の「ジンダイアケボノ」は、かつて日本からアメリカに贈られたソメイヨシノが現地で交配し、逆輸入の形で持ち込まれた苗から生まれた品種とのことです。本校の国際交流事業をさらに活発化し、未来に向けて世界に強く羽ばたいていく願いが込められています。このほか、60周年記念誌の発行、ホームページの全面リニューアルを行っています。また、老朽化に伴って撤去された正門の再整備を行っています。4月にはきれいに整備された姿で、皆様をお迎えできることと存じます。



本年度は、ようやく学校活動が正常化に移行し、学生らも活動の場を広げることができました。今後もより良い学生の育成に取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。末筆ではございますが、同窓会様の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げます。

※本記事は2024年3月（2023年度）に寄稿いただいたものです。

電子デバイス・電子関連機器に関する技術及び製品開発をサポートする
総合ソリューションカンパニー

SHIIMA

シーマ電子株式会社

◆ 設計・試作・評価センター
山梨県韮崎市龍岡町下条南副995番440
TEL: 0551-23-0642 FAX: 0551-23-0644

◆ 本社
神奈川県横浜市中区花咲町二丁目82番地
貞華ビル
TEL: 045-260-1530 FAX: 045-260-1535

採用サイト <https://recruit.shiima.co.jp/>

2023 年度長野高専 C 科同窓会開催報告

22 期小林雄二郎

2023 年 11 月 25 日（土）にホテルメトロポリタン長野において、総勢 113 名の出席者により長野高専 C 科同窓会が開催されました。

総会は、佐藤安則副会長(19 期)の司会により唐澤則夫副会長(19 期)の開会の言葉に続き、宮入賢一郎会長(17 期)の挨拶で始まりました。その後、議長に選出された高藤亨仁理事(17 期)の進行で 2022 年度の活動報告・会計報告・2023 年度の活動計画・予算案が承認され、堀内篤理事(28 期)の閉会の言葉で総会は閉会となりました。



総会後の特別講演会は太田雅行理事(25 期)による司会で進行しました。「交通・まちづくりの研究紹介－C 科のあゆみとともに－」と題して、今年度で退職となる柳澤吉保先生にご講演をいただきました。柳澤先生からは C 科(土木～環境都市～CE 系)の歴史、自身の研究と学生と社会貢献のために実施してきた研究や活動について思い出話も加えながら丁寧にお話をいただきました。講演会後に CE 系長である遠藤典男先生から「最近の長野高専について」お話をいただきました。

懇親会は久しぶりにパーティー無しで着座で行いました。荒井里佳子理事(40 期)の司会で進行し、宮入賢一郎会長(17 期)の挨拶、来賓の長野高専本科同窓会長の小河原敏男様(11 期 M 科)の挨拶のあと、ゲストの来賓である長野高専技術振興会会長の池田明様(2 期 E 科)の乾杯の発声で祝宴が始まりました。その後、恩師の永藤先生・浅野先生・大原先生にお言葉をいただき恒例の年男・年女のひと言では 5 期・17 期・29 期・41 期・53 期の代表からお話をいただきました。久しぶりに会った同級生や先輩、後輩、恩師の先生、学校の先生方との歓談であっという間の 2 時間でした。最後は恒例の校歌を幻の 3 番まで歌い恩師の松岡保正先生による万歳三唱で締められました。

海洋技術建設 株式会社

東京湾を中心とした
【地域密着型】で海洋
土木を主とした建設
社です。



機械工学科 第3期生 同窓会開催報告

3期機械工学科 西村 徹三

1970年に卒業して以来、毎年「三期会」という名称で同窓会を継続開催してきた。残念ながら新型コロナのため、2020年から休会を余儀なくされたが4年ぶりに13名の参加者をもって開催することができた。今回の「三期会」はいつもと趣を変え、少し文化的事業も取り入れながら、疎遠になっている同窓生の親睦を図ることにした。2023年9月19日12時より、上田市武石コミュニティセンター近くにある「ピザラボ」という町興し施設で、同窓生の宮下和美さんの手作りピザ窯を使用して、ピザ焼きを楽しんだ。昼食の団欒を終えたその足で、上田市武石の標高830mの山懐に抱かれ清流に恵まれた宮下農園を見学した。この農場では無農薬・無化学肥料による自然農業を工夫しながら米作りを実践している。刈入れ前の黄金の稲穂が一面に広がり、雑草退治用のヤギ嬢が我々を迎えてくれた。工夫いっぱいの農場見学一巡後、珍しいヤギ乳をごちそうになり、沢一つ違いの鹿教湯温泉のホテルに宿泊し、各自近況報告を行って初日の予定を終えた。



翌20日は、上田市前山にある、先の大戦により、



無念にも命を奪われてしまった画学生の遺作絵画を展示している「無言館」を訪ねた。今を生きる我々の心に訴える絵画を見ながら、昨今の世界各地の紛争が止むことの願いを強くした。最後は上田市真田町の地で1994年に創業し2019年8月に亡くなった同窓生の笹辺幹人さん創業の「ファインフォーミング」を訪問し、技術紹介と工場見学をさせてもらった。笹辺さんはこの三期会を始めたメンバーの一人である。同社は「鑄造鍛造法」という特殊な技術でアルミ合金の熱間鍛造を国内唯一で行っており、今は姪御さんがその技術を継承して立派に会社運営をしている。大変忙しい中にもかかわらず笹辺紀三子社長、及び笹辺幹人さんの奥

様に暖かく丁寧なおもてなしを受け感謝している。工場見学後は、おいしい信州そばを食べて健康で来年の再会を祈念して散会をした。

2022年11月12日(土)名古屋市中区の「中国菜館 桃の花」にて開催された。

長野高専同窓会中部支部は2019年に発足したものの翌年からの新型コロナ感染拡大防止措置のため2020年度、2021年度はスティホーム開催となり、懇親の場は持てずに終わりました。2022年度においては、まだ感染流行は完全におさまってはいなかったものの、少人数に区切って、マスク会食をするなど対策をしっかりとりしながら、愛知県新型コロナ対策認定店を選定して行うことができました。

3年ぶりの会の開催に、1期生の方は前日から知多半島へ宿泊し、大盛況な同期会を実施した後、本総会へも出席していただきました。総会では1期生から44期生までの幅広い年齢層で、先生の話や学び舎、学生寮の話など、共通点を見つけて年代の垣根を超えた交流ができ、親睦を深めることができました。来年度以降も、更に広く会員にお声がけし、懇親の輪を広めていく所存です。



待つて試作その前に

アイデアを「モノ」へ

イメージを「モノ」へ

株式会社ハル精密

情報通信技術で社会に貢献致します

090-7204-3623

info@hullprecisioninstrument.com

https://hullprecisioninstrument.com



祝卒業 50 周年 6 期機械工学科同窓会

6 期機械工学科埼玉開催同窓会幹事 増塩弘隆

2023 年 10 月 27 日（金）～28 日（土）にかけて、埼玉県川越市において、6 期機械工学科（1973 年卒業）卒業 50 周年の同窓会を開催しました。

もともとは、2020 年に埼玉県で開催するというので準備を進めていました。

幹事は埼玉県及び群馬県在住者が受け持つことになり、幹事会と称する飲み会で協議を重ね、埼玉を代表する観光地でもある川越にて開催することに決定しました。日程を決め、宿も決め、同窓生への連絡をしようとした矢先、コロナが蔓延し始め、やむなく延期としました。その後、なかなかコロナが収まらず、開催できない状況が続き、とうとう 3 年間もの延期となってしまいました。

2023 年春になると、そろそろ開催してはという意見もちらほら聞こえ、開催準備に入りました。コロナ明けの 4 年ぶりの同窓会。連絡を取ると多くの友人が参加希望を伝えてくれていました。50 年ぶりに参加するアメリカ在住の五味君も駆けつけてくれるといううれしい連絡も届き、再会に向けて大いに盛り上がっていました。



10 月に入るとインフルエンザやコロナが再び活発になってきて、ドクターストップや自身、家族の体調不良による欠席連絡が相次ぎましたが、最終的には 23 名もの同窓生が川越に集い、楽しいひと時を共に過ごすことができました。

宿に入ると、再会を喜びあって早速乾杯！近況を伝え合いました。そして、歴史ある寿司屋での本宴会。心は若かりし頃に帰り、昔話に花が咲きました。宿に戻って三次会。50 年たっても気心の知れた友と過ごす時間は楽しいもの。あっという間に深夜に！

来年度は長野にて開催することに決定し、幹事も長野在住者をお願いしました。全員 70 歳を過ぎたこともあり、それ以降も消息確認の意味も含めて、毎年開催していこうということになりました。元気で多くの友が集え、6M 同窓会がこれからも続いていくことを願っています。

JOIN OUR TEAM

究極の特殊モータへ挑戦を

 **ゴコ電気株式会社**

設計者 中途採用募集中！

長野県諏訪郡富士見町落合字南原山13414-1
TEL：0266-62-5283
MAIL：goko@goko-denko.co.jp
HP：
<https://www.goko-denko.co.jp>



ISO 9001
ISO 14001
BUREAU VERITAS
Certification



JIS Q 9100
BUREAU VERITAS
Certification



JIS Q 9100 認証範囲：
航空・宇宙・防衛機器用モータ及び
発電機の部品の設計・開発及び製造



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

小木曾建設株式会社

小木曾建設株式会社 代表取締役 小木曾謙策 29期土木工学科卒

私共の会社は飯田下伊那地域で大正時代より土木請負をはじめ、創業から1世紀を経ました。

土木工事部門と舗装工事部門を軸に、地域に根ざした堅実な土木・舗装工事の施工を心がけています。最新の舗装技術や施工機械を導入し、アスファルト舗装・大型コンクリート舗装・路面切削業務なども手掛け、近年では建設ICT機器を導入・内製化し、建設現場用の3Dスキャナーのデータを活用



した構造物の管理や舗装機械のマシンコントロールに取り組み、建設技術向上に努めています。

本校34期環境都市工学科卒の金田氏が工場長を務める自社アスコン工場では、リサイクルやカーボンニュートラルにも取り組み、高品質なアスコンの製造と人と環境に優しい舗装技術についても日々切磋琢磨しています。

会社の周りではリニア中央新幹線の工事現場が各所で稼働しており、これまでの景色がガラッと変わってきています。私たちも自社の可能な範囲でリニア工事に携わっています。将来の日本の基軸となる高速交通網の建設において周辺の方々の生活に配慮しながらスマートに工事を進める必要があります、技術者として腕の見せ所だと感じています。

企業活動においても少子高齢化が課題になっており、人材獲得のために企業PRにも力を入れています。弊社でも優秀な人材を必要としていますので、社員の皆さんへの福利厚生に力を入れています。目玉として長野県の奨学金返還支援制度を導入し、既卒3年以内の社員に対し日本学生支援機構の貸与奨学金の代理返還を可能としました。また長野県のアドバンスプラス認証もいただき、社員の仕事と子育ての両立支援等にも力を入れ、働きやすい職場環境を構築しています。また、多くの方に私共を認知していただく為に、ホームページやインスタグラム等でこと細かに社内や現場の様子を公開しています。他にも本校学生さんとの連携も大切にしており、過去2年間で3名のインターンシップを受入れさせて頂きました。

このように地元愛、仕事愛、そして長野高専愛にあふれる企業でございます。

南信で元気にやっていますので、同窓生の皆様お気軽にご連絡をお寄せください。宜しく願い申し上げます。

土木・舗装工事に関わるお仕事
■現場代理人 ■舗装工 ■営業職
正規採用、転勤無し、福利厚生充実

採用特設
サイト

- 業務内容、採用条件
- 福利厚生 ●社内スタッフ
- 業務紹介動画等 公開中

小木曾建設株式会社
飯田市座光寺6663番地5 TEL.0265-35-2052
<https://www.ogiken.co.jp/> 会社見学随時対応可能

SDGs
REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT

Instagram
インスタでも
情報発信中

松本から世界に「キレイ」を届ける

テスコム電機株式会社 人事課

当社は理美容家電をメインとするメーカーです。

本社は東京にあります。技術の拠点として松本に工場を構えております。2023年にはエレコム株式会社にグループ入りをしました。新たに横浜にも開発の拠点をもち、お客様により豊かな生活をお届けするため、製品を生み出しています。

現在、長野高専の卒業生は4名おり、その内の2名の活躍をご紹介します。



●52期（2019年）電子制御工学科卒、18期（2021年）専攻科 生産環境システム専攻 修了 電機設計グループ 畠中秀彰さん

長野高専に在学の内から、家電メーカーに就職したいという想いがありました。インターンシップでテスコムを知り、新卒で入社いたしました。現在の業務は家電製品のプリント基板設計です。設計仕様の策定や試作サンプルの評価を行う上で、高専生時代に学んだ電気回路や研究で学んだ情報処理の知識を活かしていると感じます。その一方で学びきれなかった、現場でしか得られない気づきも多く、先輩エンジニアに教わりながら、日々勉強の毎日です。家電はお客様が直接手にとる製品なので、自分が開発に関わった製品が店頭に並んでいるところをみると、感慨を覚えます。反面、レビューや口コミなど、「お客様の声」として不満情報を目にすることもあります。しかし、前向きに次に繋がるアイデアとして積極的に活かしていきたいです。設計者としてはまだまだ未熟ですが、業務を通じてできることを1つずつ増やして、自分の手で作り上げる製品をもっと増やしていきたいです。最後に、長野高専を支える同窓生の皆様へ感謝申し上げます。

●56期（2023年）電子制御工学科卒 設計グループ 山越ひなたさん

元々家電に興味があるなかで、理美容家電をメインに取り扱うテスコムでなら、女性目線のものづくりの知見が活かせるのではないかと思います。インターンシップを経て新卒入社しました。テスコムの社風なのか、松本の温かい土地柄のためか、当社で働く人はみな優しく、コミュニケーションも活発なので働きやすい環境です。長野高専では電子制御工学科で幅広い分野を学びました。専門的な知見もそうですが、電気回路や設計、CAD、プログラミングなど色々な知識があることが家電メーカーにはとてもあっていると感じています。現在は電機設計評価業務をメインに携わっています。評価をもとに、問題点となる部分を発見して設計に立ち戻るとは、とても勉強になります。いずれは設計にも関わり、自分の製品を作ることが目標です。同窓生の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

プロフェッショナル&オンリーワンテクノロジーで『美と健康』を追求した商品作り



TESCOM
テスコム電機株式会社



本社
松本工場
HPアドレス

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7 テスコム五反田ビル
〒390-1242 長野県松本市和田4217-1
<http://www.tescom-japan.co.jp>

やっと複数の長野高専卒

ルート設計株式会社 取締役会長 大井一政

上田市で機械設計専門のルート設計株式会社と申します。ペットボトル成型機、工作機械等の機械設計と制御設計、ペットボトル金型設計・三次元モデリング及び解析業務を行っております。機械・金型設計・制御設計に対するニーズは極めて高く、お客様の需要の全てを応えられなく申し訳なく感じております。更には他社からの引き合いもありますが現状のお客様の需要にご満足いただけていないのにお断りをせざるを得ないのが実態です。当社には営業職はおらず設計者が業務をしっかりこなすことが営業そのものとなっています。

さて当社には1982年（15期）機械工学科を卒業し、現在勤続29年になる自慢の社員がおります。高専で培った【創作する喜び】を胸に、その高い能力で機械の開発業務を担い、入社以来、長年に渡って第一線で会社を牽引し活躍しています。

また今年2月から貴校の2016年（49期）電子制御工学科卒の男性に入社して頂きました。現在、機械設計教室を受講中ですが、その能力は高く教えることをどんどん吸収し、通常ですと4週間ですが3週間での卒業となります。前職は大手の電力会社でしたが大会社ゆえに本人の希望の通りの業務とはならず、単純作業の業務をあてがわれ、やりがいを見出せず、紆余曲折の中でその進路を当社に委ねてくれました。楽しそうに受講し、やりがいを感じているのではと思っています。

昨年の夏に貴校の在校生1名のインターンシップを5日間実施しましたがこの彼も能力は高く当社で教える機械設計の基準をマスターしていきました。

ユーザーの求める仕様を満たし、安価で使いやすく耐久性のある機械を設計するには、過去の経験に裏打ちされた豊富な知識と想像力を駆使する必要があります。またお客様及び担当部署内の良好なコミュニケーション力、試行錯誤も覚悟して完成に導いていける能力が必要です。長野高専の卒業生はこの能力を有し、様々な分野で活躍し社会にとって大きな存在、パワーとなっていると感じています。引き続き卒業生の皆様のご活躍を期待しています。



社内技能アップ研修。

√D ルート設計株式会社 機械設計・制御設計 求む。人財！

「0」から「∞」の発想!!

15期・50期生と一緒に設計中

〒386-1211 長野県上田市下之郷813-83 採用情報はこちら
TEL:0268-37-1570 URL:https://root-design.securesite.jp

培った知識や技術を基に活躍中

NIKKI Fron グループ 広報

弊社はフッ素樹脂製品の設計・製造・販売を主力事業として、長野の拠点を中心に滋賀、タイに製造工場、東京、タイ、ベトナムに販売拠点を構えております。フッ素樹脂は、耐熱性、絶縁特性、摺動性など複数の優れた機能を兼ね備えた耐久樹脂の最高峰であり、半導体製造や医療・医薬、自動車分野を中心に製品を供給しています。弊社に在籍している卒業生の内、製品設計部署と営業部署より

1：現在の活動

2：当社の働きやすさ

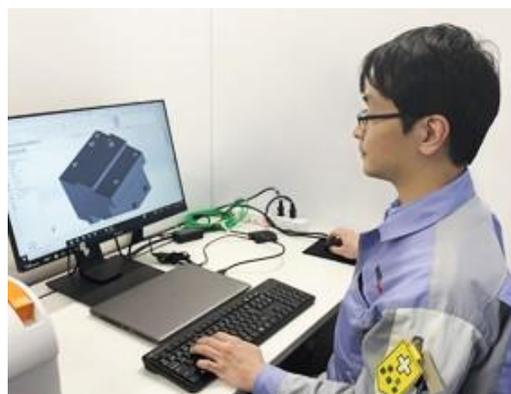
についてご紹介させていただきます。

●42期(2009年)電子制御工学科卒、44期(2011)専攻科生産環境システム専攻 修了、設計企画 主任 Yさん

1 フッ素樹脂製品の設計責任者として製作方法の検討、顧客への設計提案や課題解決のための打ち合わせや試作など、顧客を交えた様々な調整を担当しています。学生時代に取り組んだレポートやプレゼン作成の経験を活かし、正しく情報を伝える事や課題に対して論理的に思考する事を常に意識しています。顧客から当初は理解頂くことが難しかった設計提案においても、こうしたことを意識し丁寧に打ち合わせを重ねた事で提案を採用頂き、量産に繋げることができました。

現在、他社でも難しい高度な加工技術が必要な案件を技術開発から手掛けており、論理的な分析と計画的な実験を繰り返すことで試作品の完成に至ることができました。量産化まではもう一步ですが、高専で培ったことを活かして会社の技術力向上に貢献できたことは嬉しく感じます。

2 私を含め社員全員が有休をほぼ100%取得していたり、残業時間も以前に比べて半減しています。一方弊社では過去最高の売上を達成しており、作業効率の改善など、単純な労働時間の短縮だけでなく働き方改革の取り組みが上手く進んでいると感じています。



設計企画 主任 Yさん 業務風景

NIKKI Fron Since 1896 絹麻パッキンの発明から 80th フッ素樹脂はサステナブルマテリアルへ進化する

1896 絹と麻の廃材活用から 1944 素材を転換 2024 フッ素樹脂のリサイクルへ

長野高専OB活躍中! www.nikkifron.com

CIRCULAR Monozukuri

●39期 (2006年)機械工学科卒、
海外事業部 課長 S さん

1 現在はタイの製造子会社に駐在し、製品の拡販活動や工場の収益管理などを行っております。現地スタッフとは高専時代から学習を続けている英語や片言のタイ語でコミュニケーションを行っていますが、ものづくりにおける一番の共通言語は図面だと感じます。図面を使用して、スタッフとは生産作業方法を確認したり、顧客からの要求事項の確認を行ったりと高専で学んだ基礎力が今でも活かしていると感じます。

また生産工程で起きた不具合に対処する際、「なぜ」不具合が発生したのか原因を探る事が必須となります。高専では比較的早期から、機械・電気・情報など様々なモノやコトの因果関係を実験や座学を通して学ぶことができ、「WHY」を追究する力を訓練できる環境が整っていると感じます。高専で学んだ事でこうした力に自信を持つことができ、日々の業務に取り組めております。

2 現在私は家族帯同で海外赴任をしています。会社でも初めてのケースでしたが、海を越えてもチームとして密に連絡を取り合い些細な事でも相談できる環境があり、業務面はもちろん生活の面でもしっかりサポートを受けています。海外での出産・子育ても問題なく行うことができ、公私ともに充実した生活を送ることができています。

弊社では多くの長野高専卒業生が勤務しております。働きやすい職場環境の中、長野高専で培った知識や技術を基にそれぞれの職場で力を発揮し活躍しています。

ものづくりからももづくりへ

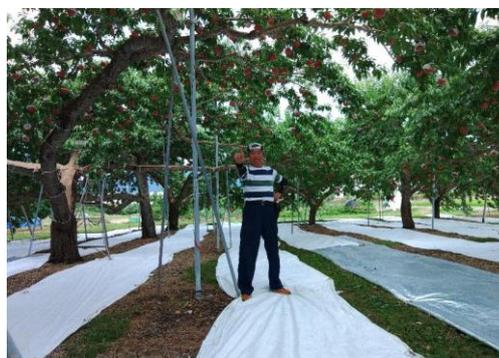
11期機械工学科 小河原 敏男

皆さんこんにちは。同窓会長を拝命している11期機械科卒の小河原です。私は高専卒業後約40年間「ものづくり」にかかわってきましたが、6年前に会社を退職し、「ももづくり」を主とした専業農家としてシーズン中は日々奮闘しています。私の住んでいるところは長野市南部の川中島町であり、川中島白桃発祥の地として桃づくりが盛んです。私の父が桃農家だったのですが、17年前に農地約60aを残したまま急逝してしまい、誰か耕作してもらえないか探しましたが、約15aは引き受け手が見つかりましたが、残りが見つからないので「しょーがねえな」ということで、会社員との二足のわらじ生活が始まりました。平日は作業できないので、私の奥さんとお手伝いさんに約10年間ご苦勞していただき、なんとか農地を守ることができました。今は桃畑約30a、水田約25aを耕作しています。水田の2/3は自田ではなく、耕作できない人の分を面倒みています。

私は現在グリーン長野農協の非常勤理事として農協の運営にもかかわっていますが、農業の実態を知れば知るほど危機感が湧いてきて、日本の農業はどうなるのか=日本はどうなってしまうのか心配でな



海外事業部 課長 S さん(=写真右)
現地スタッフと



りません。ひと昔前は食料自給率の向上というタイトルで報道記事等をよく目にしましたが、最近は食料安全保障という2ランクくらい危機感が上がったようなタイトルになっています。しかし政府の対応は相変わらずのバラマキ政策でしかなく、根本的な農業人口の増加という点に注力していません。そりゃそうだ、農業のみ労働人口が減るのではなく、すべての産業で減ってくるので70歳まで働けと旗を振っています。これではもう「定年帰農」なんて言葉は死語であり、70歳になれば本格的な農業参加は無理であり、いいとこ家庭菜園が精いっぱいですよ。川中島町の桃部会員も毎年4~5%程度減ってきています。ということは20年で0になります。どこで下げ止まるかと観てますが、毎年同じ状況です。原因は言うまでもなく後継者がいないということです。私



2021年8月パティシエの青木定治氏来園。川中島の桃について説明を行った。

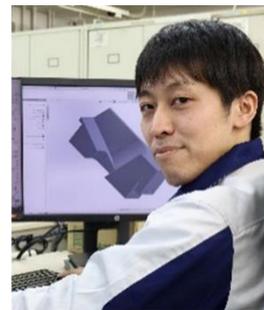
のように百姓の長男坊として生まれ、親父亡き後「しょーがねえな」と兼業でも農業を継いでくれればいいのですが、多くの方は苦勞、できねえ~ということで廃農してしまいます。ただ幸いなかな川中島は土地改良区による水利が整備されており、農業法人による米、麦、豆などの栽培で農地は何とか維持されており、荒廃農地は他地区より少ないようです。中山間農地は相当荒廃地化が進んでいるようです。ただ桃のような永年作物は減少の一途であり、生産人口、生産額とも減少の一途をたどっています。この原因について持論なのですが、親世代が「百姓は儲からね」「百姓は苦勞だ」と念仏のように唱えていて、それが子世代に刷り込まれていることがあると思います。確かにすべてが手作業のような昭和中期以前は苦勞だったかもしれませんが、機械化されたり、高収入作物がでてきたりした現在ではやる気さえあればそんなに儲からないことはありません。例を挙げれば当グリーン長野農協の粗収入資料では、ぶどう（シャインマスカット）では10aあたり約250万円、桃（川中島白桃）10aあたり約180万円、りんご（ふじ新矮化）10aあたり約140万円という試算が出ています。（成木園、10aにどのくらい木を植えるかによって変化します。私の場合は欲張りなので、1本の木に実を沢山つけるように枝を多くしています。）私が就農したころは桃で100万円/10aくらいでしたから、17年で80%増となっています。年によって変化ありまして、一昨年は豊作貧乏でしたが、それでも170万円/10a程度は確保できています。決して儲からないことはないのですが、作業が晩春、初夏から晩夏に集中してしまうので、お手伝いさんを確保しないと規模拡大ができないという悩みがあります。それと最大の天敵は異常気象です。昨年は春が異常に早く進み、4月に凍霜害被害が大打撃となりました。当園は被害が軽微でしたが、品種によっては収量が半減以下という地区もありました。対策としては夜半にろうそくカスなどを燃やす燃焼方式などありますが、私は晩酌して寝るほうがいいので今まで行ったことはありません。しかし被害が深刻化すれば、私にも4月に休肝日ができるかもしれませんね。それと台風被害も今後考えられます。昨年も8月に長野県を台風直撃になる予報が出され、結果的にはそれで被害がなかったのですがヒヤヒヤものでした。主力の川中島白桃が全滅になると覚悟を決めて、贈答品依頼のお客様にお詫びの文章まで考えましたが、直前でそれで事なきを得ました。そんな折、某地元テレビ局が飛び込みでやってきて、台風対策をしている農家を取材したいと回りまわって私のところへ取材にきて、何も対策していないのに対策しているような映像を撮っていきました。「やらせ」ですね。台風がそれているので視聴者の皆さんはお分かりだと思いましたが、クサイ芝居をしてしまいました。地元局ではなくNHKであれば芸能界デビューができたかとも思っています。このように地球温暖化は農家の難敵、大敵です。

そんなこんなで農家も楽ではありませんが、会社勤めの皆様も楽はないかなと思います。同窓生の皆様の中にも60歳前後で役職定年とか嘱託で再雇用など、給料は下げられて、今まで部下だった上司の下でガマンして働いている方が大勢いるのではないのでしょうか？そんな方はぜひ農業にチャレンジしてください。農地や機械などは農業公社、農協などに問い合わせれば面倒を見てくれます。JAグリーン農協管内であれば私が相談にのります。一年中冷や汗かいて寿命を縮めるより、いい汗かいて長生きしましょう！

お客様の課題解決に向けた自動化装置を提供していきます

シチズンファインデバイス株式会社 43期機械工学科 佐藤雄平

長野高専を卒業後、弊社の産業機器部に配属されて14年になります。その間、機械設計の担当として多くの自動化設備を設計してきました。在学中に学んだ機械力学をはじめ数々の学習は、現在の実務に直結する経験になりました。この場をお借りしまして、改めて長野高専で多くの貴重な学びをさせて頂いたことを深く感謝申し上げます。



人・技術・製品が生み出す価値で、ひろく社会に貢献します

産業機器部では、お客様の課題解決に向けて【自動化・省力化装置のご提供】を行っております。課題の一例として下記が挙げられます。

- ・人件費の削減による、製造原価コストダウン

- ・人ではできないことを機械が行い、不可能を可能にする

一方で日本国内の製造工程は、以前から人件費の削減を目的に海外へ流出しています。



河口湖事業所 : 精密金属加工部品、精密計測機器、自動化・省力化装置
御代田・北御牧事業所 : 水晶デバイス、磁石部品、強誘電性液晶ディスプレイ

このままでは日本国内の製造技術力・生産技術力の衰退が加速してしまう恐れがあり、日本国内の製造業を存続、盛り上げるためには自動化が必須だと考えております。

このような情勢がある中、2023年に当社は株式会社アイシン様より全世界から1社のみを受賞となる最高賞【品質優秀賞】を頂きました。受賞頂いた自動化設備の開発では機械設計を担当したことから、このような表彰を頂いた事は非常に光栄な経験となりました。

今回開発した設備がお客様をはじめ、製造業の発展に助力させて頂いたことは無上の喜びです。今後もお客様の課題解決に向けて、より良い【自動化・省力化装置】をご提供するべく努力して参ります。

シチズンファインデバイス株式会社

お問い合わせ : ☒ cfd_jinji_saiyo@ml.citizen.co.jp

☎0555-23-1231

精密計測機器 HP : <https://cfd.citizen.co.jp/measurementsp>

自動化・省力化装置 HP : <https://cfd.citizen.co.jp/imsolution/>

技術者 積極採用中!



自動化設備の検討や採用について、ぜひご連絡ください!

2年生3人組の挑戦

タイ TJ-SSF 2023・GCON2023・社会実装フォーラム

都市デザイン系 酒井美月

コンテスト、部活動など、例年在校生の活躍の様子を先輩であるみなさまにお届けできていることをうれしく思っています。今年度2年生の女子学生3人組が年間を通じて多くのことに挑戦し、成果を上げてきた活動があります。

エンカレッジ教育という、最近日本でも認知度の高まっている言葉をご存じでしょうか。

エンカレッジ (encourage) とは「勇気づける」「励ます」という意味で、学生のやる気を引き出し、サポートする教育手法のことです。課題や悩みを持ち、やる気をなくしてしまっている学生に伴走し、サポートすることで、元気づけ、自信を持って自分の可能性に気付いてもらうような活動を行います。

私が2023年3月に出会った2年生は、悩みを抱えているとかではなく、その時すでにやる気に満ち溢れていましたが、それでもその後の活動に伴走し、目覚ましい成果を上げて、自分たちに自信を付けて行くさまを見るなかで、挑戦と成功、少しの失敗は学生のやる気をこんなにも引き出すものか、ということを実感したので、紹介したいと思います。

本件で紹介する2年生は工学科初年度の入学生で、2年進級時に都市デザイン系(旧:環境都市工学科)を専攻した学生でした。1年の授業では系に分かれた専門授業を受けていませんので、専門科目に関する知識はほぼない状態です。それでも、春休み前に本校で案内された、2023年12月にタイで開催される TJ-SSF2023(日タイ高校生サイエンスフェア)に参加したいと、研究に取り組む意思を示してくれました。TJ-SSFはタイ国にある12校のプリセンスチュラポーンサイエンスハイスクール、日本の高専やスーパーサイエンススクール(SSH)から学生が集まり、研究成果を発表すると共に相互文化交流を深めるイベントです。2023年度は63校から300名を超える学生・生徒が参加しました。発表のために彼女たちは放課後の研究室に集まり、実験を繰り返し、基礎的な知識のために文献を読み、英語で論文を書き、発表用資料を作りました。高学年の研究のようにそのための時間が用意されていませんので、通常の授業、部活動などの隙間を使っての活動です。分析用試料を自転車で自宅に持って帰り、夜中まで実験をし、夏休みに実験室で作業をすることを繰り返し、「竹の粉を使って水中の不要な物質を除去し、除去されたかの判断を簡易に判定する」方法を確立しました。彼女たちは英語での発表のために、留学生から発表指導を受け、初めての国際学会での舞台を無事に終えました。



超精密技術が、
未来をおもしろくする。

つくっているのは、
部品じゃなくて未来です。

MinebeaMitsumi ミネベアミツミ
Passion to Create Value through Difference <https://www.minebeamitsumi.com/>

ミネベアミツミについて
もっと知ろう!



■お問い合わせ先■
ミネベアミツミ 軽井沢工場
〒389-0293
北佐久郡御代田町大字御代田4106-73
TEL:0267-32-2200 FAX:0267-31-1350

またこの内容が、高専機構が新たに開始した高専 GIRLS SDGs×Technology Contest の「SDGs を中心としたさまざまな社会課題の解決に向けた技術開発、アイデア」という主旨に一致するものであったので、並行してこちらにも応募しました。今年度の高専 GCON には全国から 85 チームがエントリーし、書類審査や面談審査を経て、本選に 12 チームが出場しましたが、彼女たちも本選に選出され、さらには本選審査にて協賛社賞の 1 つである村田製作所賞を獲得することができました。

彼女たちの活躍はまだ続きます。今年度の活動の集大成として、2024 年 3 月に開催された第 12 回社会実装フォーラムに参加します。「社会実装フォーラム」は学生たちが自ら見出した社会の様々な課題に対し、それを解決するためのプロトタイプを試作・開発し、実証試験や評価を繰り返しながら改良を進めていくといった特徴を有した社会に役立つものづくりのプロセスを実践する PBL 教育です。このフォーラムにて、ポスター発表からファイナルステージに選出された彼女たちは、ほとんどの参加者が卒業研究を実施した 5 年生であるなかで、優秀社会実装賞（2 位）を受賞しました。



GCON 授賞式

さて、この彼女たちの活躍のなかで、私の役割は徹底した伴走でした。エンカレッジ教育において、重要とされるのはサポートであり、ヘルプではありません。つまり、課題や問題に対し、教員が手を出して助けることはよくないとされ、徹底した寄り添いが求められます。限られた時間の中での作業に、「自分がやってしまえば早い」「完成度をあげたい」「正解を教えちゃいたい」というような気持ち、「実験工程が熟考されていないので手戻りが大きい」「予算は有限・もうお金ナイ」というような葛藤がありました。それでも

じっと我慢をしていると、自分の力で成果にたどり着いた学生は、どんどんやる気を高め、生産性を上げていきます。複数回のプレゼンテーションで、彼女たちの思考力、説明・発表能力は大きく向上し、GCON の協賛企業である村田製作所からの、企業見学の座談会で研究内容を発表してほしい、という依頼には自信をもって「ぜひ発表させてください」という回答をするようになりました。彼女たちの 1 年間は通常の高専生が 5 年間で体験するような内容だったのかもしれませんが、現在も、これからの活動のやる気にあふれています。彼女たちのきっかけは、「タイに行ってみよう」だったかもしれませんが、活動を通じた多くの



GCON 本選後のほっとしたひとこま

人との触れ合いの中で、自分たちに出来ることを多く見つけ、どんどん自信をつけて行きました。「君たちはすごい！」を大人がどれだけ言うよりも、実体験のなかで、実学を通じて「自分たちはすごい！」を体験できることが学生の自信につながるのだと思った一年でした。教職員も頑張ってもらいます。同窓生の皆様も、これからも彼らの実学にぜひサポート、伴走をよろしくお願ひします。

バドミントン部 めざせ北海道！！

平塚陽世里さん（1-3）と平塚涼那さん（1-5）

今年度の関東信越地区高専大会バドミントン競技は、長野県のホワイトリングで行われました。9年ぶりの長野県開催で、女子団体、女子ダブルスで優勝、女子シングルスで優勝・準優勝、男子ダブルスで3位入賞など、多くの種目で結果を残すことができました。地元長野県で全国高専大会への出場権を得ることができ、大きな喜びと達成感を感じたのを覚えています。

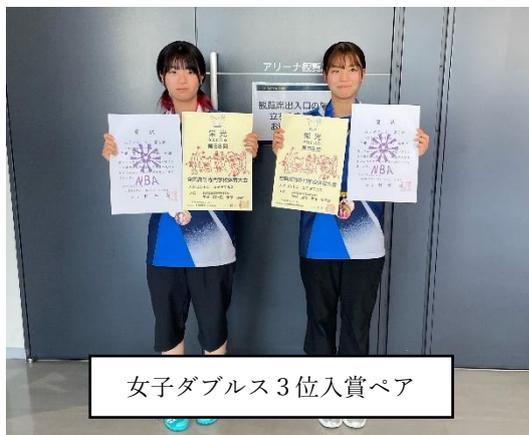
全国高専大会は、東京都水元総合スポーツセンター体育館で行われました。この



大会では女子団体戦、女子シングルスでベスト8、女子ダブルスで3位入賞という結果でした。メンバー全員が全国高専大会には初出場でしたが、一人ひとりが自分の役割を果たし、精一杯のプレーができたと思います。さらに、全国の高専の中で、トップ選手のプレーを間近で見ることができたり、地区高専大会では敵どうしである同じ地区の選手たちが、全国高専大会では応援しあっている姿などに、とても感動しました。これら二つは、感じたことのほんの一部ですが、全国高専大会で得られた経験は、とても貴重なものとなりました。

現在、バドミントン部はおよそ20名の部員で活動しています。来年度は、男女ともに北海道で行われる全国高専大会への出場を目標に活動しています。長野高専のバドミントン部は学年や男女問わず仲が良く、高専の良さが前面に出ている部活だと思います。そして、「楽しく・強く」の両方を叶えられる部活です。

このように、部活動を活発に行えているのは、日頃より応援してくださっている同窓会の皆様をはじめとする多くの方々のおかげです。バドミントン部一同、心より感謝申し上げます。バドミントンを通して、長野高専にたくさんの元気を届けられるよう、精一杯頑張っていきますので、今後ともご支援よろしくお願いたします。



サイバーセキュリティ同好会

サイバーセキュリティ同好会は、1年生・2年生・3,5年生チームの3つにチームを分けて高専セキュリティコンテストに出場しました。次に、各チームの感想を載せます。

(1年生チーム) 競技では、低難易度の問題はおおよそ解くことができた一方、高難易度の問題には手も足も出ず、事前の勉強不足を痛感しました。今後は情報技術の学習やCTFへの参加を通して、幅広い知識や実戦経験を積み重ねていくことで、確かな実力を身につけられるよう精進していきます。

(2年生チーム) 去年出た似たような問題が解けるようになっていて自分の成長を感じる反面、解けない問題も多く力不足でした。毎年恒例のQRコードの問題が今年も解けず悔しかったので来年は絶対に解きたいです。また解答を読むと、あと少しで解けていたと思う問題が多いので、粘り強さも鍛えたいです。

(3,5年生チーム) 昨年は2位でしたが、今年は1位を取ることができました。昨年の雪辱を果たすことができ、とても嬉しいです。各個人が得意で担当しているジャンルの問題を解き、チーム内の個人の能力を判断して分担して問題を解くことができたことが結果につながったと思います。



高専セキュリティコンテストを優勝して、
SECCON 本選に出場した際の旗

新「工学科」3年目スタート

副校長（教務主事） 濱口直樹

令和4年4月に「工学科」の1学科に改組して2年が経過しました。工学科では、情報エレクトロニクス系、機械ロボティクス系、都市デザイン系の3つの系が設置され、学生は2年次からいずれかの系を主専攻として学ぶこととなります。

令和5年度には、工学科1期生は2年生となり、それぞれの系における専門科目の講義や実験、実習も始まりました。また、リベラルアーツ教育院での一般教養科目でも、グローバル化に向けた「少人数英会話演習」が始まり、2年生全員が対象となる台湾への「海外研修」も実施しました。

2年生の新設科目である「エンジニアリングデザイン入門」では、メンター教員からのアドバイスも得ながら、学生がテーマに沿って「課題」や「不思議に思うこと」を発見し、これらを解決に向けた情報収集と作業をチームで協働して行うプロセスを体験しました。

主専攻選択の状況については、3回の希望調査と担任との相談等を経て、工学科1期生は98%、2期生は99%が希望通りの系に進んでいます。また、1期生の情報エレクトロニクス系における3年生でのコース選択も、電気コースと情報コース、いずれも全員が希望通りに進むことになりました。

一般社団法人長野高専技術振興会

技術相談・共同研究・インターンシップ・各種講座（スキルアップ、学び直し等）・学生支援などの事業を行っています。2024年3月現在454社（企業、団体、個人）の会員様により運営されております。5月より本年度の各種講座を開催しますのでご利用ください。随時入会の受付をしております。

連絡先 長野高専地域共同テクノセンター内
☎026-295-7117 mail:nrtc71@nagano-nct.ac.jp
振興会HP <https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/sup/technocenter>
(地域共同テクノセンターのHPから振興会HPをご案内してます)



情報エレクトロニクス系・渡辺誠一教授が「第 68 回澁澤賞」を受賞

工学科情報エレクトロニクス系の渡辺誠一教授が、広く電気保安に優れた業績を上げたと認められ、11月3日付で一般社団法人日本電気協会「第68回澁澤賞（人材育成部門）」を受賞しました。平成14年4月から現在に至るまで電気工事士資格取得講座の講師を務められ、平成25年から教職員のスキルアップおよび長野高専技術振興会会員企業に在籍する社会人に対して資格取得支援も実施しています。電気工事士資格取得講座の講師を始めてから21年間に第一種電気工事士技能試験に8名が合格、第二種電気工事士技能試験に444名が合格を果たしました。人材育成を通じて電気保安に貢献したことが評価され、今回の受賞となりました。

11月15日の電気新聞において受賞者紹介が掲載されるとともに、11月16日には東京商工会議所渋谷ホールで贈呈式が行われ、澁澤元治博士文化功労賞受賞記念事業委員会委員長より表彰状が授与されました。（長野高専のホームページより記事を引用させていただきました）

資格試験に挑戦してみませんか？

長野高専副校長（学生主事） 26期電気工学科 渡辺誠一

私は1997年4月に長野高専に採用されてから27年が経ちました。2000年3月に1つの目標であった博士号が取得でき、次は何をしようかと考えました。日頃、学生たちが部活動等で頑張っている姿を見て、電気工事士などの資格取得を通じて、より積極的に技術を学ぶ学生を育てたいと思い、当時、大澤幸造先生や峯村賢次技術職員に相談しました。学生に教えるからには資格を取らなければと思い、まずは受験勉強をしました。私は



不器用で、学生時代に2回不合格になった苦い経験があります。峯村技術職員に教わりながら、学生と一緒に練習して受験に臨みましたが、2000年の技能試験では不合格となりました。2001年に何とか合格することができ、2002年4月から講座の担当を引き継いで講座を実施しています。その後、3回目の受験で第一種電気工事士試験にも合格することができました。

通算7回の受験を通じて得たことを活かして、時間配分や作業手順を中心にアドバイスしています。これが功を奏したのか、私が講座を担当してからの22年間で第二種電気工事士技能試験に470名（合格率85.1%、社会人・教職員も含む）、第一種電気工事士技能試験に8名（72.7%、社会人・教職員も含む）が合格を果たしました。この他に、低学年の実験において電気工事实習と太陽光発電設備に関する実験を通じて、早期から電力工学に興味を持ってもらえるように工夫するとともに、電気工事士や電気主任技術者の資格を受験するきっかけ作りを行いました。これらの電気技術者の人材育成の実績が電気保安に貢献したと認められて、一般社団法人日本電気協会の第68回澁澤賞（人材育成部門）を受賞することができました。

現在の第二種電気工事士試験では、技能試験に出題される候補問題13問が事前に公開になっており、受験される方には30回は製作するように伝えています。毎日実験室に来て練習に取り組んでいる学生の大半は合格を果たしていますが、出席率の悪い方が不合格となる傾向があり、何とかしなければいけないと思っているところです。

2013年から教職員のスキルアップおよび長野高専技術振興会会員企業に在籍する社会人に対して資格取得支援も実施しています。電気工事士や電気主任技術者に興味がある方はぜひご相談ください。

ソーシャルイノベーション・サポートセンターの紹介

ソーシャルイノベーション・サポートセンター長 柳澤憲史

ソーシャルイノベーション・サポートセンターは、本校が令和4年度大学改革推進等補助金 高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業に採択されたことで設立されました。

ソーシャルイノベーション・サポートセンターでは、学生のキャリア支援や社会課題の解決に対する意識の涵養を図るための企画立案を行い、学生を主体とした学生プロジェクトやビジコン同好会などが設立できたことは学生の意識向上に寄与しています。さらに、実際のものづくりを通じた製品や商品の開発やその評価を支援するソーシャルイノベーション・サポートラボを設置しました。

これまでに、学生の自主的活動の参加促進を促すため指導、助言等を行うと共に、学生主体の学年、学科を超えたビジコン同好会の立ち上げを支援し、各種コンテストに積極的に参加できたことは学生の自立心を養うことに寄与しました。本校技術振興会会員企業等の地域産業界を交えた場において、学生による取組みの発表会が開催できたことは、学生の自発的な取組み内容を理解していただくとともに、学生が地域企業とつながるきっかけとなりました。

社会課題の解決を目的とした本科2年生の必修科目である「エンジニアリングデザイン入門」の遂行に必要な指導体制の整備を目的に教員向けの研修を計5回、学生向けの講習を計5回行いました。2025年度にはこの後修科目として「エンジニアリングデザイン実践」が開始されます。このなかでは地域企業様からの実際の課題提案を受け学生が課題解決に取り組むようなカリキュラムとなる予定です。

今後も高専生の活動を後押しするとともに、学生が地域をフィールドに活動し、自らの技術を用いた地域の社会課題解決に取り組み、地域活性化にも貢献することを目的とし活動していきます。本校の学生が「高い技術力」、「社会貢献へのモチベーション」、「自由な発想力」をのばせるようご支援のほど、よろしくお願い致します。



アントレプレナーマインド養成講座



エンジニアリングデザイン入門発表会



竹内製作所はミニショベル、クローラーローダーを世界で初めて開発した小型建設機械のパイオニアです。当社の製品は欧米で主に活躍しています。近年ではリチウムイオン電池式のミニショベルを開発、出荷も開始するなど環境にやさしい製品づくりにも取り組んでいます。

株式会社竹内製作所

〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205
☎0268-81-1107 mail.recruit@takeuchi-mfg.com

採用ページ ▶



長野高専・高速信号伝送評価センター

高速信号伝送評価センター長 29期電気工学科 春日 貴志

2023年6月、長野高専内に高速信号伝送評価センターがスタートしました。国立高等専門学校機構・令和4年度概算要求「高度設備の共同利用拠点の整備」事業に、長野高専から「Society5.0時代の100GHz超高速信号と電磁材料評価システム」と出して提案し、採択されました。

AIやIoTが普及している一方で、ビッグデータを高速伝送し、データを処理するハードウェアの整備は急務となっています。しかしながら、設備が高額なため、20GHz超の信号伝送に関する研究を行う環境整備は難しい状況でした。国立高専内にBeyond 5G/6G規格に求められる100GHz超の信号伝送・電磁材料測定評価システムを整備し、Society5.0時代の高周波分野をリードすることを目指しています。

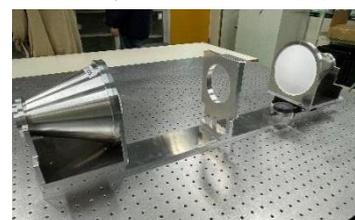
センターに導入された装置は、(1)～110GHz帯の4ポートベクトル・ネットワーク・アナライザ、(2)誘電体や磁性体といった材料の特定評価装置、(3)簡易電波暗室と周辺の測定装置、(4)CT-Scan、(5)レーザー顕微鏡です。(1)と(2)は組み合わせさせて利用しますが、高速信号伝送に関係したハードウェアの測定以外にも、農畜産物や食品評価の誘電率評価から味などを定量的に評価することが期待されています。またCT-Scanやレーザー顕微鏡は機械的な分野での利用も可能です。

これら装置は一般向けに開放しています。センターが開所して約1年経過しましたが、民間企業の利用も増えてきます。機器利用だけでなく、情報交換を目的とした高速信号伝送研究会も年3回開催しています。是非、長野高専・高速信号伝送評価センターをご活用下さい。

高速信号伝送評価センターの機器の詳細ならびに使用料については、ホームページをご覧ください。



ベクトル・ネットワーク・アナライザ



フリースペース法 (材料測定)



CT-Scan

高速信号伝送評価センター ホームページ <https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/sup/signal-transmission>



ユウワは微細精密な金型技術でグローバルにはばたきます。

株式会社ユウワは、日々進化するスマートフォン、タブレット端末などで使用される、コネクタ部品、カメラ部品、液晶部品、自動車、医療などの微細精密モールド部品を手掛けています。高度な金型技術を武器に、広い分野でグローバルに貢献します。

〒384-0044 長野県小諸市西原700番地1 TEL0267-25-8001 FAX0267-25-8011 www.yuwa-net.co.jp/



友華精密電子(東江)有限公司(中国) 第1工場
YUWA VIETNAM CO.,LTD(ベトナム) 第2工場
YUWA VIETNAM CO.,LTD(ベトナム) 第2工場
FUJIFILM YUWA MEDICAL PRODUCTS VIETNAM COMPANY, LIMITED

本社・成形工場・金型技術センター



株式会社ユウワ

本社・成形工場・金型技術センター

2023年度末で退職された先生方からメッセージをいただきました

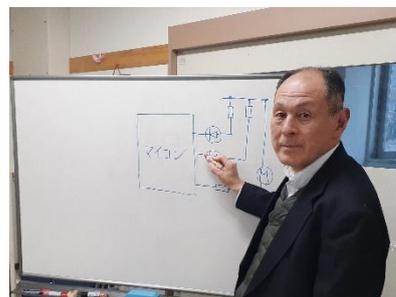
「お世話になりました」

情報エレクトロニクス系 古川万寿夫

この度、愛媛県の新居浜高専にて人事交流にて異動し、定年退職までの2年間に新居浜高専にて勤務することとなりました。長野高専では36年間の長期にわたり多くの学生と接することができました。また、卒業生の皆様にはお会いした際に近況をお聞かせいただいたり、ご支援やご協力をいただきました。

私自身も長野高専の同窓生ですので、愛媛県においでの際はお気軽にお声がけください。おいしいミカンと魚と酒、温泉を用意してお待ちしております。

卒業生の皆様のご発展とご健康を祈念しております。最後になりますが本校在職中の皆様方のご厚情に感謝申し上げます。



同窓会のみなさんへ

情報エレクトロニクス系 西村 治

長野高専の電子情報工学科に赴任して3年が経ち、令和5年度で退職することとなりました。赴任したのは、ちょうど電子情報工学科一期生が5年生になった年で、電子情報の学生とは一期生からかかわってきたこととなります。担任としては8クラスを受け持ち、いろいろな個性あふれる多くの学生とかかわることができ、山あり谷ありの教員生活を過ごすことができました。現在は長野高専も赴任した頃とはだいぶ変わってきおり、専攻科が設置され、本科は5学科だったのが3つの系へと変わりつつあります。昨年度、電子情報工学科棟も改修されて、現在は眩しいくらい廊下も部屋も白くなり、部屋の配置もかなり変わりました。個人的には長野高専赴任とともに長野での生活が始まり、今ではすっかり長野県民となり、長野から離れるのも寂しい面もありますが、長野高専での教員生活は良い思い出となりました。長野高専も今後もどんどん新しくなり、発展していくことを期待しております。



退職のことは

情報エレクトロニクス系 鈴木 宏

昭和60年4月に機械工学科の助手として採用されてから、平成4年度に電子制御工学科、平成21年度に電気電子工学科、令和4年度に工学科情報エレクトロニクス系と各学科・系を渡り歩くこと39年間、長野高専でお世話になりました。私自身は、技術者でも研究者でもなく、ものづくりもできる方でもないのに、これまでやって来られましたのは、教員・職員の方々、何より卒業生・学生の皆様のお陰と思っております。本当にありがとうございました。学級担任を通算13年間行いその間4回の卒業生を送り出しました。また、吹奏楽部や情報技術研究部（高専プロコンへの参加）の指導できない指導教員を長年やってきました。思い出はここには書ききれないほどたくさんありますが、多くの学生と接し、卒業生してからも尋ねてくれたり、同級会に誘われたり、多くの結婚式に参列したりと、卒業後も関係を持っていただき、先生冥利に尽きると痛感しております。感謝です。



4月からは再雇用として、後2年ほどは長野高専でお世話になります。今後も長野高専が益々発展し、卒業生が長野高専はよかったなと思えるような学校を維持できることを祈念しつつ、私も多少はお役に立てればと思っております。まだ、学校に居りますので近くにお越しの際は声をかけてください。

本校学生の地域貢献の取り組み。学生たちと経験をさせていただきました。

都市デザイン系(環境都市工学科) 柳澤吉保

私の専門は、都市計画および交通計画で、よく「交通まちづくり」と呼ばれています。自然科学系には分類されますが、どちらかというと社会科学や行動科学に近い分野です。

長野高専赴任以来38年間、「交通まちづくり」に取り組んでまいりました。とくに本校学生と一緒に地域貢献に携わり、そのうちいくつかは実際に事業化されたこともあり、強く印象に残っています。

平成16年から実施されました、長野市中央通り歩行者優先道路化事業

社会実験では長野市と共同で、中央通り沿線の回遊行動促進効果および具体的な整備方針に関する評価検証に携わりました。調査分析に携わった学生は多数おりました。平成27年3月には新田町交差点南側の歩行者優先化が実現しました。現在は、新田町交差点南側の長野駅までの区間の歩行者優先化導入可能性について本校学生が調査分析に携わっています。

屋代線廃線後の路線バス屋代須坂線の本格導入および、北しなの線駅を中心とした地域資源の探索とまちづくりに関する取り組みも本校学生が中心となって進めました。とくに屋代須坂線は、5人の学生がわずか1年間の取り組みで本格運行を実現しました。極めて困難な取り組みでしたが、本校学生の集中力と根気強さ、ひたむきさにより、当該地域住民が積極的に事業参画する原動力となりました。基礎理論の習得や多くの実験実習をとおして築いた実践力だけではない、

「優れた技術者は、優れた人間でなければならない」の精神がなければ、とても携われることはありませんでした。

38年間、本当に良い経験・勉強をさせていただきました。ありがとうございました。



令和4年度決算ならびに令和5年度予算のご報告

会計担当 北條 晴義 (38期 機械工学科)

令和5年6月24日に開催されました総会にて監査報告され、承認されましたのでご報告いたします。

■一般会計

収入の部

科目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増減	令和5年度 予算額
前年度繰越金	4,213,528	4,213,528	0	4,718,700
会費(ゴールド会費含む)	2,180,000	2,215,930	35,930	2,170,000
広告収入他	110,000	80,037	-29,963	110,000
合計	6,503,528	6,509,495	5,967	6,998,700

支出の部

科目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	増減	令和5年度 予算額
事務諸経費(会議費含む)	1,370,000	1,139,355	-230,645	1,010,000
クラス幹事活動費	200,000	0	-200,000	200,000
慶弔費	50,000	46,720	-3,280	50,000
同窓会行事経費	900,000	604,720	-295,280	2,400,000
予備費	3,983,528	0	-3,983,528	3,338,700
合計	6,503,528	1,790,795	-4,712,733	6,998,700

■同窓会基金

収入の部	支出の部	差引残高
8,080,422	0	8,080,422

長野高専基金

—ご支援のお願い—

「長野高専基金」は教育・研究・地域貢献活動、修学のための支援及び国際交流の推進等に資することを目的に、平成30年度に創立し、ご支援いただいた寄附を基金として積立て、本校の教育研究等の発展のために活用させていただくものです。下記の支援などに活用をしています。

- 【 学生支援事業 】 全学的な教育・研究・地域貢献、施設整備等
留学、教員の海外派遣等、国際交流事業等
- 【 修学支援事業 】 本校学生に対する奨学金給付、海外留学等への支援

長野高専基金ホームページ

<https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/fund>

同窓会からのお知らせ

○同窓会より、ゴールド会員を募集しています

50歳以上となられる会員の皆様には、本会をさらに強かに支援していただきたく、ゴールド会員（会費：20,000円）としてのご登録をお願いいたします。登録していただきますと、小山田いく氏（田上勝久氏（10M））デザインのゴールド会員証をお送りいたします。また、同窓会総会における懇親会費を割引いたします。

「ゴールド会員」登録申し込み方法 ゆうちょ銀行：口座記号番号 00520-9-93286 長野工業高等専門学校同窓会

まで、「ゴールド会員費として」と通信欄に明記のうえ、ゴールド会員終身会費20,000円をゆうちょ銀行よりご入金ください。後日、会員証をお届けいたします、会員証の発送をもってゴールド会員への登録手続き完了のお知らせとさせていただきます。

[ゴールド会員制度設立の趣旨と理事会からのお願い]

本年度は1期から28期までの卒業生を対象にしてご協力をお願いします。同窓会の運営は主に入学当時に保護者の方が負担してくださった入会金で賄われてきました。卒業後30年を経た50歳以上の皆様には、ぜひご自身でも会費を納めていただき同窓会活動に対するよりいっそうのご理解とご支援をいただきたくゴールド会員制度を設けました。ゴールド会員の会費は20,000円で終身会費となります。この機会にぜひ登録いただき高い視点から母校の発展、同窓生同士の活発な交流ならびに同窓会へのご支援をお願いいたします。

○所属の変更、転居などがありましたらお知らせ下さい

所属や連絡先の変更がある方は事務局までお知らせ下さい。ご協力よろしくをお願いいたします。会員情報（卒業期・氏名・住所・電話番号・勤務先・勤務先電話番号・E-mail）につきましては、同窓会誌の送付、総会など同窓会行事のご案内、長野高専が実施する事業（アンケート調査）、同窓会員名簿の作成に利用させていただきます。同窓会員名簿に個人情報掲載を希望されない方、同窓会だよりの送付を希望されない方は、同窓会事務局までご連絡下さい。ご連絡のない方につきましては、会員情報の上記目的への利用を同意されたものとさせていただきます。

○同窓会(クラス会)開催の際はご一報下さい

同窓会(クラス会)や、部活や同好会などの課外活動団体のOG・OB会などを開催する(した)場合には同窓会事務局までご一報いただくとともに、同窓会だよりに会の様子を記事としてご投稿ください。原稿をお寄せいただきますと、活動費1万円を差し上げます。

○19期生の皆様 卒業40周年記念同期会を開催しませんか

19期生の皆様は来年度(2025年度)卒業40周年を迎えられます。これを機に記念同期会を開催してはいかがでしょうか。来年度の同窓会総会(2025年6月ごろ開催予定)との同時開催も可能です。同窓会クラス担当委員の方などを中心にぜひ、ご検討・企画いただき、同窓会事務局までご一報ください。

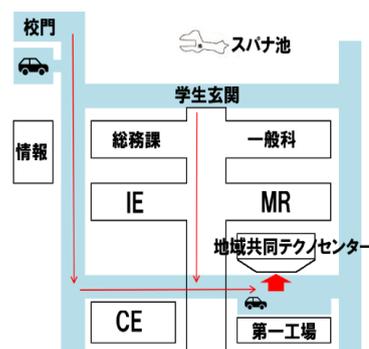
2024年度 長野高専同窓会総会のご案内

2024年度の総会を下記の日程にて開催します。参加される方は右のQRコードまたは下記のURIからアクセスしていただきフォームからお申込みください。総会の様子はZoom使って遠隔配信しますので、オンラインでも参加可能です。オンラインでの参加を申し込まれた方には6/21までにZoomの接続情報を送信いたします。

日時：2024年6月29日(土)13時30分より
会場：長野高専 地域共同テクノセンター・セミナー室
(長野高専の敷地内です、案内図をご参考ください)

参加申し込みフォーム(兼名簿情報変更フォーム)URI:

<https://forms.gle/peXeYmyFfoaca6Aw9>



○訃報

同窓会前会長の中村天昭様（2期 機械工学科）が、2024年3月1日にご逝去されましたので、会員の皆様に謹んでお知らせいたします。中村様は2011年度から2017年度までの7年間にわたり同窓会会長として、本会の活動にご尽力くださいました。ご冥福をお祈りいたします。

○同窓会だよりへの広告を募集しています

同窓会だよりに広告を協賛金10,000円にて承っています。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。本年度もたくさんの企業様のご協賛をいただきました。御礼を申し上げます。

○同窓会だよりの記事を募集しています

同窓会の皆さんへ発信する情報（記事）を募集しております。同窓会事務局まで情報をお寄せください。

同窓会事務局 担当：36期機械工学科 山岸郷志

電話：026(295)7055 Mail：info@nnct-doso.net

○同窓会だより読者プレゼント

同窓会だよりをご愛読いただき、誠にありがとうございます。さて、この度、みなさまからの貴重なご意見やご感想に感謝の気持ちを込めまして、関係者のご厚意により提供いただいた素晴らしい品々を抽選でプレゼントすることになりました。

本年度は小河原農園様（小河原会長）より桃（なつっこ）、深井農園様（元技術長）よりシャインマスカットとリングゴをご提供いただきました。

下記のURIより応募フォームにアクセスできます。応募締切は5月31日（金）です。お早めにご応募ください。

抽選は6月29日（土）に行われる同窓会総会にて行い、当選者を発表します。

当選された方には、協賛事業者様から直接プレゼントをお届けいたします。

商品の発送にあたり、当選者の個人情報（お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス）を協賛事業者様に提供しますが、商品の発送に関する目的以外に使用することはありません。

読者プレゼント応募フォーム（同窓会だよりの感想）URI：<https://forms.gle/8ZRPZouX86QqQT4aA>



同窓生プレゼントとして同窓会長の小河原農園の桃をプレゼントします。品種は長野県育成品種の「なつっこ」です。2kg箱（大玉6個入り）を5名の方にプレゼントします。時期は8月上旬になるかと思いますが、生ものですので平日でも確実に受け取れる方、電話、メールで連絡の取れる方に限定させていただきます。多くの方のご応募お待ちしております



編集後記

本年度も皆様へ同窓会だよりをおとどけする季節となりました。昨年度実施された創立60周年記念事業により校門がリニューアルされました。学校の南側の道路は上松から若槻を通り北しなの線と北陸新幹線の下を通過して旧R18アップルラインへ抜ける大きな通りになっております。交通のアクセスも良くなってきております。ぜひ皆様の母校へおよりください。

